

# 教育最前線

連載 31

●埼玉県警察本部・埼玉県二輪車安全普及協会「グッドライダーミーティング」

## 安全運転意識の高いグッドライダーを育てる講習会



埼玉県警交通企画課の鈴木係長が二輪車対自転車の出会い頭事故の事例などを紹介

「秋の全国交通安全運動における当県の重点は『自転車の安全利用の推進』です。ライダーの皆さんに自転車のルールや特性を理解してもらい、自転車の動きを考えた運転をしてほしいと考えています。また、ここに集まるのは安全意識の高い方々です。そうした皆さんから家族や友人に自転車の安全利用を呼びかけていただ

秋の全国交通安全運動期間中の9月23日、今年3回目となる「グッドライダーミーティング」が行われ、70名のライダーが参加した。この日は、通常のプログラムに加え、自転車安全利用のための座学（1時間）を実施。ライダーを対象に自転車教育を行う背景を埼玉県警交通企画課の櫻木課長補佐は次のように語る。

### ライダーに自転車事故の実態を伝える

埼玉県警察本部（以下、埼玉県警）と埼玉県二輪車安全普及協会（以下、埼玉県二普協）は、ライダーを対象にした体験型実技講習会「グッドライダーミーティング」を年4回開催している。会場は埼玉県警察運転免許センター（埼玉県鴻巣市）。埼玉県に在住または在勤で、グッドライダー・防犯登録制度に加入していれば誰でも参加できる（要事前予約・車両は各自持ち込み）。指導は埼玉県警交通機動隊の技能指導官や二輪車安全運転推進委員会の指導員資格を持つ指導員が担当している。

座学では最初に、埼玉県警交通企画課の鈴木係長が平成25年8月末時点の自転車事故の件数は6450件と昨年同期比較で6・3%減少しているものの、自転車利用者の死者数は30人と全国ワースト1位となっている状況を説明。死者数では高齢者が56・7%を占め、事故類型別にみると半数以上が交差点での出会い頭事故であることを伝えた。さらに、二輪車対自転車の出会い頭事故の事例を紹介し、「自転車は一時停止を無視して交差点内に入ってきたり、携帯電話を使用してクルマやバイクの接近に気づかないことがあります。自転車と衝突した場合、ライダーが大きなケガを負うこともありますから、皆さんも自転車の動静には十分に気をつけて運転してほしいと思います」と鈴木係長は強調した。

参加者を代表して2名のライダーがHonda自転車シミュレーターを体験



シミュレーターの再生機能を使って代表者2名の運転を振り返る

### シミュレーターを活用して自転車の立場を知ってもらう

続いて、二輪車安全運転推進委員会特別指導員の阿部英典さんがHonda自転車シミュレーター（以下、シミュレーター）を活用して、自転車の安全な利用について指導を行う。

参加者を代表して2名のライダーがシミュレーターを体験。他の参加者は大型スクリーンで代表者の運転の状況を確認する。体験が終わると、阿部さんが事故を起こした場面を再生して、事故になった原因を考えてもらう。特に出会い頭事故に遭った場面では、自転車と相手の車両の両方の視点から事故にいたるプロセスを振り返る機能を活用し、自転車が見落とされやすいことを示した。シミュレーター体験の他、自転車安全利用五則など自転車が守るべきルールを解説。最後に「お子さんや友人など、皆さんの周りで自転車を利用する方がいると思います。今日、学んだことをぜひ家庭や職場に持ち帰って、多くの人に伝えてほしい」と阿部さんは訴えた。

### 運転に自信のないライダーには丁寧に指導

グッドライダーミーティングの実技は「ブレーキ」「バランス」「コーンスラローム」「ブレーキ」ではフ



実技では一人ひとりの運転に合わせてアドバイス



実技の前に、女性白バイ隊員が正しい運転姿勢をとるためのポイントを指導



フロントブレーキだけをかけてロックした状態を体験してもらう



この日のまとめとして行われたコーススラローム



運転に自信のないライダーには時間をかけて丁寧に指導

ロントブレーキ、リアブレーキの特性を体験したり、40〜60km/hの急制動、「バランス」では一本橋や波状路、バイロンスラローム、8の字走行などの課題に参加者は取り組む。指導にあたった埼玉県警交通機動隊の倉林技能指導官や女性白バイ隊員、二輪車安全運転推進委員会指導員が一人ひとりの運転を観察しながらアドバイスした。最後は「コーンスラローム」。コーナーやS字、クランクを組み合わせたコースを繰り返し走行することで、これまで学んだことを再確認してもらう。

埼玉県警のグッドライダーミーティングでは、運転に自信のない参加者は自己申告することで、基礎的な段階からの指導を受けることもできる。埼玉県二普協の福島小善治専務理事は「埼玉県では、運転に自信のない方のクラスを設けています。私たちは親しみを込めて『愛の小屋』と呼んでおり、指導員が時間をかけて丁寧に指導するのが特長です」という。「グッドライダーミーティングには初心者もいればベテランのライダーも参加します。一人ひとりの『上手になりたい』という気持ちに応えたいと考え、運転に自信のない方にも楽しんでもらえるように工夫しています」。

埼玉県二普協では今回のような自転車の安全利用についての座学など、バイクの運転に関すること以外にも安全意識の向上に役立つプログラムを積極的に取り入れている。こうした取り組みも埼玉県のグッドライダーミーティングならではの特色といえるだろう。

※1 Honda 自転車シミュレーター＝自転車の交通ルールとマナーをわかりやすく伝え、危険予測能力を高めることを目的に、Hondaが開発した体験型教育機器。詳細は下記ホームページを参照。  
<http://www.honda.co.jp/simulator/bicycle/>  
※2 自転車安全利用五則＝①自転車は車道が原則、歩道は例外 ②車道は左側を通行 ③歩道は歩行者優先で車道寄りを行く ④安全ルールを守る ⑤子どもはヘルメットを着用

## 「2013トラフィック・セーフティ・フォーラム in 埼玉」開催

●主催：交通教育センターレインボー埼玉、交通教育センターレインボー和光

テーマ：『安全に強い職場作りと人材の育成』

日時：平成25年11月8日（金）午後1時00分～午後4時30分

会場：埼玉会館 小ホール（埼玉県さいたま市高砂3-1-4 / JR浦和駅西口下車 徒歩約6分）

定員：400名（予約制）

申込：下記ホームページより参加申込書を印刷の上、FAXによりお申込みください。

[http://www.tec-r.com/forum/2013\\_apli.pdf](http://www.tec-r.com/forum/2013_apli.pdf)

締切：平成25年10月25日（金）  
（定員になり次第締め切り）

参加受付中！  
参加費無料

内容：企業内における交通事故防止活動の好事例を発表  
本田技研工業（株）安全衛生管理センター 所長・水田裕史氏  
三菱電機ビルテクノサービス（株）  
関越支社 安全衛生課長・小川正寿氏  
東日本電信電話（株）千葉支店 通信レスキュー隊 隊長・林曉彦氏

●お問い合わせ先  
交通教育センターレインボー埼玉 フォーラム事務局 ※月曜定休  
TEL：049-297-4111 FAX：049-297-6273